

## 対馬暖流は蛇行して北上 対馬暖流の流量は平年の6割弱と少ない 今後も沿岸水温は平年並で推移

2021年4月中旬から下旬にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は、道南では沿岸寄り、道央では東経139～140度の海域、道北では利尻・礼文島周辺を流れており、蛇行した流路となっています（図1c）。今回の観測では渦はみられず、2020年4月から前回の観測まで継続してみられた暖水渦は消滅した模様です。対馬暖流の北上流量は約0.6Sv（1Sv=10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s）で、例年の6割弱となっています（4月流量の平年値は0.94Sv）。

50m深水温は前回よりも昇温し4～9℃で、道央から道南の沿岸寄りで7℃以上になっています（図1a）。また、50m深水温偏差は、道央の海域で平年よりも約1℃高く、せたな沖の沖合冷水（指標：水温5℃以下）がみられる海域で平年よりも1℃低くなっています（図1b）。

余市前浜水温は4月下旬では「平年並み」であり（※1）、5月の気温は平年並みの予報となっていますので（※2）、沿岸水温は「平年並み」で推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyau/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温



気象庁1ヶ月予報

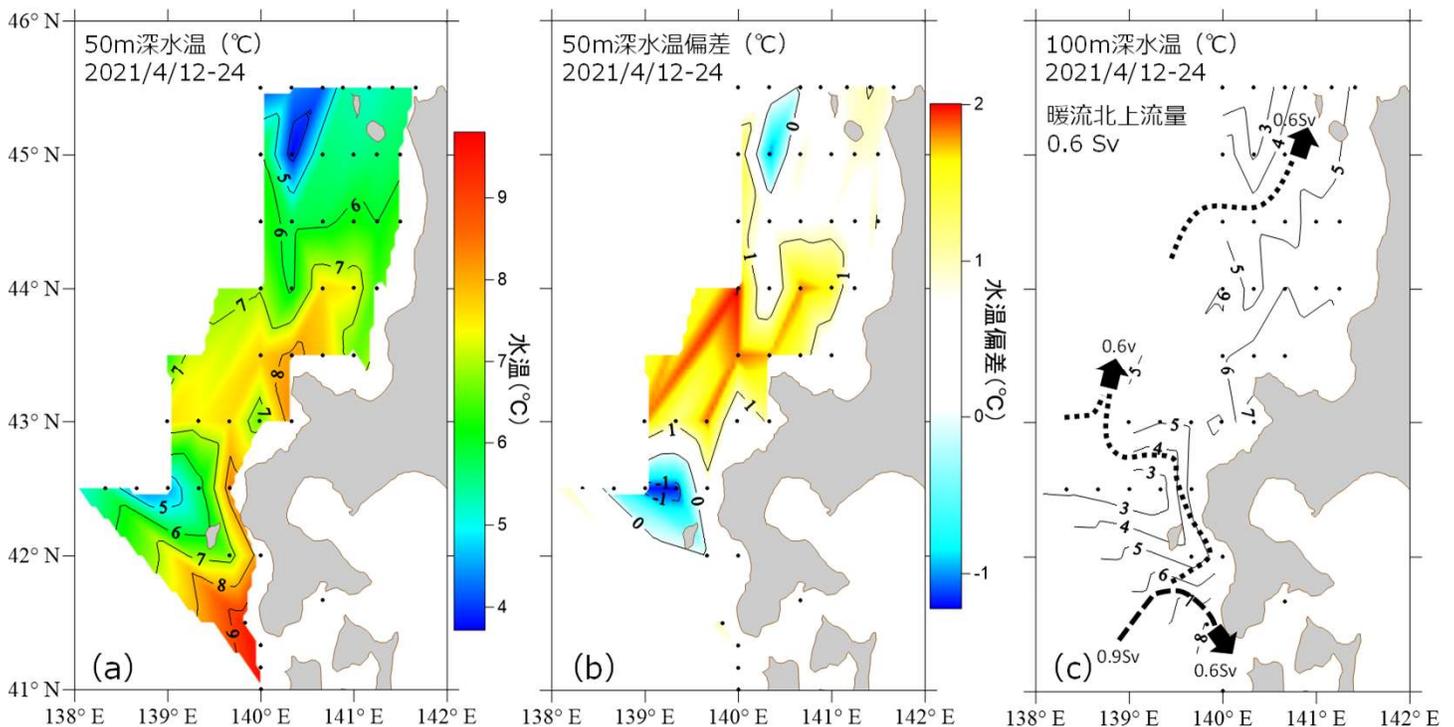


図1 2021年4月中下旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10<sup>6</sup>m<sup>3</sup>/s）。